

宮崎県肉用牛繁殖農家調査結果報告 (第2報)

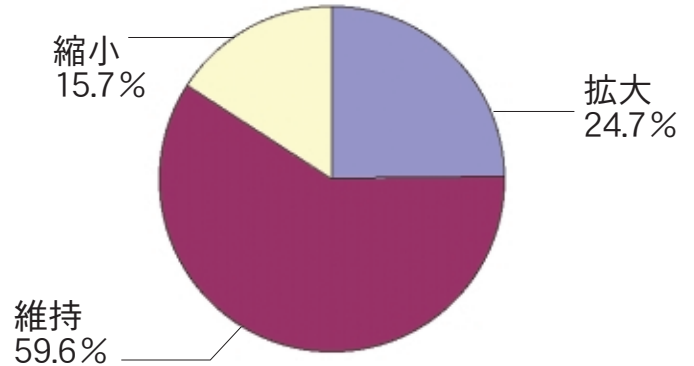
Ⅱ 今後の肉用牛繁殖農家経営

1 今後の肉用牛経営について

図Ⅱ-1 将来の意向

規模	戸数	割合
拡大	2,307	24.7%
維持	5,566	59.6%
縮小	1,471	15.7%
合計	9,344	100.0%

(無回答は除く)



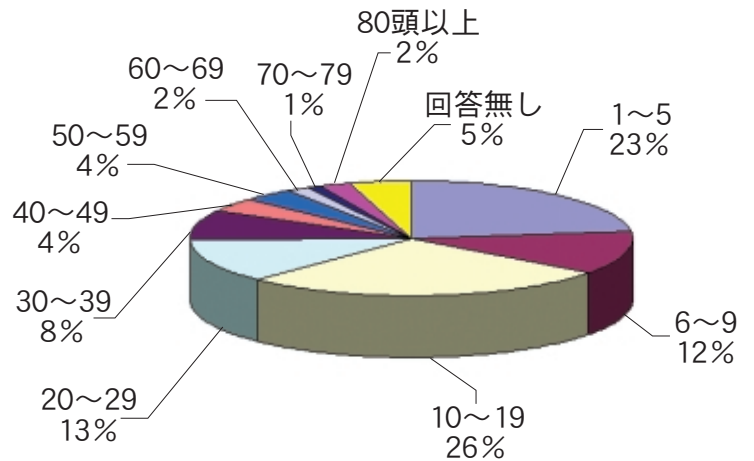
繁殖経営農家に今後の経営規模について調査した結果が左のグラフである (図Ⅱ - 1)。

全体で、9,344 件の回答が示されたが、半分以上の 59.6% の農家に関しては現状頭数を維持する意向を示す結果となっている。一方「拡大」を希望する農家が 24.7% となっており、「縮小」を希望する農家の 15.7% を上回る結果となった。

2 拡大希望農家の増頭希望頭数

図Ⅱ-2 希望頭数 (増頭)

拡大規模	戸数	割合
1 ~ 5	531	23.0%
6 ~ 9	284	12.3%
10 ~ 19	619	26.8%
20 ~ 29	290	12.6%
30 ~ 39	193	8.4%
40 ~ 49	86	3.7%
50 ~ 59	88	3.8%
60 ~ 69	35	1.5%
70 ~ 79	26	1.1%
80 ~ 89	16	0.7%
90 ~ 99	1	0.0%
100 以上	33	1.4%
回答無し	105	4.6%
合計	2,307	100.0%



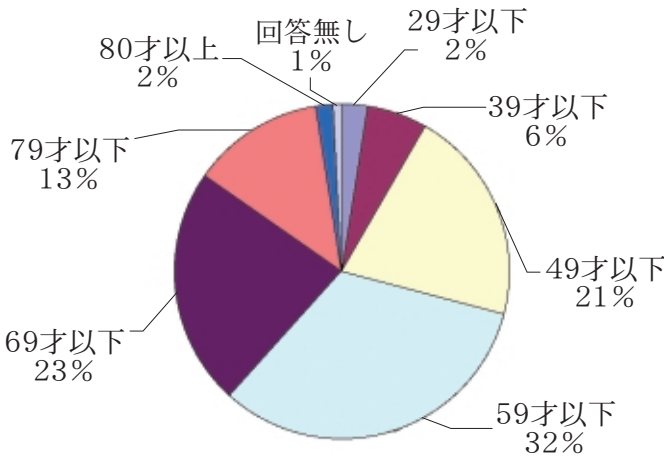
上記のⅡ - 1において、規模拡大を希望する 2,307 件の農家に対して、将来的にどのくらいの頭数規模に拡大したいかを調査した結果が上のグラフである (図Ⅱ - 2)。

最も大きな割合を示した希望飼養頭数規模は、1頭から10頭までの小規模経営の拡大で、35.3%という結果であった。次いで多い割合を示したのが10頭から19頭規模への拡大で26.8%、次に多かった頭数規模は20頭から29頭の頭数規模の12.6%であった。

このことから全体の傾向として、10頭以下の小規模経営から、ある程度規模の大きい肉用牛経営体への移行を目指す農家が多い結果となった。

3 拡大希望者の年齢構成

図Ⅱ-3 拡大希望者年齢構成



年齢構成	男	女	合計	割合
～ 29 才	54	3	57	2.5%
30 ～ 39 才	122	11	133	5.8%
40 ～ 49 才	410	71	481	20.8%
50 ～ 59 才	652	102	754	32.7%
60 ～ 69 才	472	58	530	23.0%
70 ～ 79 才	275	22	297	12.9%
80 才～	33	2	35	1.5%
回答無し			20	0.9%
合 計			2307	100.0%

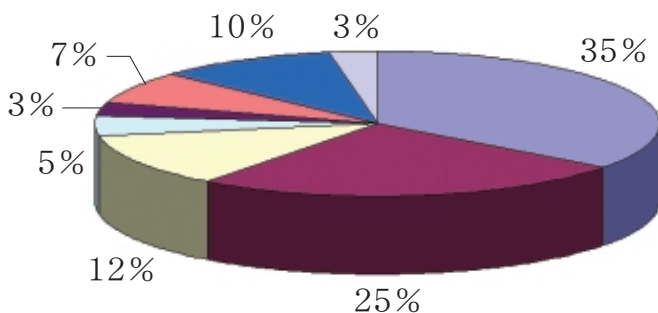
前頁のⅡ-1において、規模拡大を希望する2,307件の農家の年齢構成を調査した結果が上のグラフである(図Ⅱ-3)。

最も高い割合を示したのが、50歳代で、続いて60歳代、40歳代となっている。このことは、県内の繁殖農家の年齢構成が、非常に高い水準で推移している一方で、その下の世代の人たちに関しては、増頭意欲を持っていることを示している。

今後の宮崎県の肉用牛頭数の維持・拡大のためには、増頭希望者に対して、希望どおりの増頭や、規模拡大が出来るようなサポートが必要である。

4 拡大希望者の必要施策

図Ⅱ-4 拡大希望者の必要施策



必要施策	件数	割合
繁殖牛導入事業	1161	35.4%
牛舎整備事業	816	24.9%
ヘルパー制度	391	11.9%
子牛預かり施設	150	4.6%
繁殖母牛預かり施設	97	3.0%
共同堆肥センター	235	7.2%
粗飼料供給	343	10.5%
その他	88	2.7%

(複数解答あり)